

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮工業高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校に寄せられる信頼や期待を踏まえ、具体的な目標を目指す学校像として描いている。学校内外の環境分析などを踏まえ、学校の特色や強みを生かしながら、より高いレベルのステージに向けた学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。学校が掲げている「地域・企業・学校が連携したものづくり人材の育成」といった協働教育の視点を持って引き続き検討・整理して、目標の重点化を図ると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学科長が集まった「広報部」など、横の連携を図りながら目標達成を目指す体制が整えられ、方策が実施されている。専門教科と普通教科の教職員で協働した取組を充実させるなど、組織間の横の連携を更に強化し、重点目標の達成に向け教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校独自の取組と、地域と連携しての取組の二つの側面から方策が策定されている。取組の達成状況に対するチェック&アクションを強化し、新たな視点で次年度の方策を策定するなど、具体的な取組を進めることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、評価運営委員会等を適切に機能させ、意欲的に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	未来を拓く学校づくり推進事業に取り組む中で、学校運営への地域の参画を図りながら、取組の達成状況を検証するための情報収集を意欲的に行っている。達成状況の検証を丁寧に行い、学校と地域が協働して新たなアイデアを出しながら、次年度の取組につなげるようにスパイラルアップを一層図っていただきたい。	
特記事項			